

(2015年度)

## 5 日本史問題 (60分)

(この問題冊子は21ページ、4問である。)

### 受験についての注意

1. 監督の指示があるまで、問題冊子を開いてはならない。
2. 試験開始前に、監督から指示があったら、解答用紙の右上の番号が自分の受験番号と一致することを確認し、所定の欄に氏名を記入すること。次に、解答用紙の右側のミシン目にそって、きれいに折り曲げてから、受験番号と氏名が書かれた切片を切り離し、机上に置くこと。
3. 監督から試験開始の指示があったら、この問題冊子が、上に記したページ数どおりそろっていることを確かめること。
4. 筆記具は、HかFかHBの黒鉛筆またはシャープペンシルに限る。万年筆・ボールペンなどを使用してはならない。時計に組み込まれたアラーム機能、計算機能、辞書機能などを使用してはならない。
5. 解答は、解答用紙の各問の選択肢の中から正解と思うものを選んで、そのマーク欄をぬりつぶすこと。その他の部分には何も書いてはならない。
6. マークをするとき、マーク欄からはみ出したり、白い部分を残したり、文字や番号、○や×をつけてはならない。
7. 訂正する場合は、消しゴムでていねいに消すこと。消しきずはきれいに取り除くこと。
8. 解答用紙を折り曲げたり、破ったりしてはならない。
9. 試験時間中に退場してはならない。
10. 解答用紙を持ち帰ってはならない。
11. 問題冊子は必ず持ち帰ること。

1 次の文章を読んで、以下の問い合わせに答えなさい。ただし、文章中に一部語句を伏せた個所があるので、歴史的に正しく補って読むこと。

(ア)天皇のあとに即位した桓武天皇は、基本的に前天皇の政治的路線を踏襲し、とくに仏教側の政治的介入を阻止し、天皇の権力を強化する目的で、784年に大和の平城京から(イ)の長岡京に遷都を行った。しかるに、(ウ)の暗殺事件や(エ)親王の廃太子の問題も起こり、一部の旧豪族らも退けられた。

794年に、心機を一転するべく、長岡京の近隣に平安京を造営・遷都し、国名も(オ)国と改めた。平安京は、平城京と似ているが完全な左右対称型であったと考えられ、東西約(カ)km、南北約(キ)kmで、南北中央に朱雀大路が設けられるなど、これまでの都との共通点も多い。

桓武天皇は、(ク)年ほどの比較的長い在位期間を積極的に利用し、種々の改革を進めたことでも知られる。たとえば、国司の交替時の効率化と厳格化を狙って、(ケ)を設けたり、軍事力の向上を図って(コ)を採用したりしたが、充分には効果を上げられなかつたようである。

次世代の平城天皇と嵯峨天皇も桓武天皇の改革の精神を引き継いだが、現実には嵯峨天皇と、太上天皇となっていた(サ)の平城天皇との間に政治的対立が生じ、「二所朝廷」と呼ばれる政治的混乱を招いた。平城太上天皇は、都を(シ)京に移そうとしたこともあって、(ス)年にいわゆる薬子の変が起り、嵯峨天皇に反対する勢力は一掃された。この事件に前後して、嵯峨天皇は、文書管理を的確に把握する目的で(セ)を設け、その長官の(ソ)として(タ)らを任命している。他方、嵯峨天皇は、平安京内の治安維持を担当する(チ)も創設した。この職務は、後には裁判も担当するようになり、司法の重要な役割を担ってくる。

さらに、嵯峨天皇は、いわゆる三代格式の最初である(ツ)格式を整備したほか、当代一流の文人としても知られ、三筆の1人に名を残すほか、空海への保護・援助でも記憶されている。

問1 上記の文章中の空欄(ア)～(ツ)について、次の問い合わせに答えなさい。

(1) 空欄(ア)に当てはまるもっとも適切な語句を、次から1つ選びなさい。

- ① 文徳
- ② 称徳
- ③ 光仁
- ④ 淳仁
- ⑤ 孝謙
- ⑥ 仁明

(2) 空欄(イ)に当てはまるもっとも適切な語句を、次から1つ選びなさい。

- ① 丹波
- ② 山城
- ③ 摂津
- ④ 大和
- ⑤ 近江
- ⑥ 山背

(3) 空欄(ウ)に当てはまるもっとも適切な人名を、次から1つ選びなさい。

- ① 藤原百川
- ② 藤原緒嗣
- ③ 藤原種継
- ④ 藤原良経
- ⑤ 藤原千方
- ⑥ 藤原仲成

(4) 空欄(エ)に当てはまるもっとも適切な語句を、次から1つ選びなさい。

- ① 軽
- ② 護良
- ③ 草壁
- ④ 首
- ⑤ 崇道
- ⑥ 早良

(5) 空欄(オ)に当てはまるもっとも適切な語句を、次から1つ選びなさい。

- ① 丹波
- ② 山城
- ③ 摂津
- ④ 大和
- ⑤ 近江
- ⑥ 山背

(6) 空欄(カ)に当てはまるもっとも適切な語句を、次から1つ選びなさい。

- ① 4.5
- ② 4.8
- ③ 5.1
- ④ 5.3
- ⑤ 5.6
- ⑥ 5.8

(7) 空欄( キ )に当てはまるもっとも適切な語句を、次から1つ選びなさい。

- ① 4.9 ② 5.2 ③ 5.7 ④ 6 ⑤ 6.2 ⑥ 6.4

(8) 空欄( ク )に当てはまるもっとも適切な語句を、次から1つ選びなさい。

- ① 22 ② 25 ③ 27 ④ 30 ⑤ 32 ⑥ 34

(9) 空欄( ケ )に当てはまるもっとも適切な語句を、次から1つ選びなさい。

- ① 押領使 ② 檢非違使 ③ 節度使 ④ 勘解由使  
⑤ 追捕使 ⑥ 惣追捕使

(10) 空欄( コ )に当てはまるもっとも適切な語句を、次から1つ選びなさい。

- ① 傭兵 ② 健児 ③ 徵兵 ④ 壮兵 ⑤ 下司  
⑥ 正丁

(11) 空欄( サ )に当てはまるもっとも適切な語句を、次から1つ選びなさい。

- ① 祖父 ② 伯父 ③ 叔父 ④ 父 ⑤ 兄  
⑥ 弟

(12) 空欄( シ )に当てはまるもっとも適切な語句を、次から1つ選びなさい。

- ① 長岡 ② 平城 ③ 藤原 ④ 紫香楽 ⑤ 大津  
⑥ 難波

(13) 空欄(ス)に当てはまるもっとも適切な語句を、次から1つ選びなさい。

- ① 803 ② 804 ③ 805 ④ 807 ⑤ 808 ⑥ 810

(14) 空欄(セ)に当てはまるもっとも適切な語句を、次から1つ選びなさい。

- ① 蔵人所 ② 蔵人掛 ③ 蔵人司 ④ 蔵人詰 ⑤ 蔵人組  
⑥ 蔵人使

(15) 空欄(ソ)に当てはまるもっとも適切な語句を、次から1つ選びなさい。

- ① 蔵人頭 ② 蔵人司 ③ 蔵人長 ④ 蔵人守 ⑤ 蔵人目  
⑥ 蔵人志

(16) 空欄(タ)に当てはまるもっとも適切な人名を、次から1つ選びなさい。

- ① 藤原冬嗣 ② 清原夏野 ③ 大伴御行 ④ 紀古佐美  
⑤ 文室綿麻呂 ⑥ 藤原実頼

(17) 空欄(チ)に当てはまるもっとも適切な語句を、次から1つ選びなさい。

- ① 大番役 ② 檢非違使 ③ 押領使 ④ 追捕使  
⑤ 見廻組 ⑥ 探題

(18) 空欄(ツ)に当てはまるもっとも適切な語句を、次から1つ選びなさい。

- ① 延暦 ② 弘仁 ③ 天応 ④ 大同 ⑤ 承和  
⑥ 天安

**問2** 前掲の文章中の下線部(a)～(g)に関する次の問い合わせについて、歴史的にもっとも正しいものを選びなさい。

(1) 下線部(a)について。この事件は、西暦何年に起こったか。もっとも適切な年代を、次から1つ選びなさい。

- ① 784年 ② 785年 ③ 786年 ④ 787年 ⑤ 788年

(2) 下線部(b)について。平安京は、長岡京からみてどの方角に当たるか。もっとも適切な方角を、次から1つ選びなさい。

- ① 南東 ② 北東 ③ 南南西 ④ 西南西 ⑤ 西北西

(3) 下線部(c)について。平城京の対称性を妨げている外京は、京のどちら側に位置するか。もっとも適切な方角を、次から1つ選びなさい。

- ① 真北 ② 東側北寄り ③ 南東 ④ 南西南寄り  
⑤ 北西

(4) 下線部(d)について。この勢力に当たる人物は誰か。もっとも適切な人名を、次から1つ選びなさい。

- ① 大伴旅人 ② 藤原冬嗣 ③ 巨勢野足 ④ 清原夏野  
⑤ 藤原仲成

(5) 下線部(e)について。空欄(ツ)を除く他の2つの格式は何か。もっとも適切な組み合わせを、次から1つ選びなさい。

- ① 宝亀と延暦 ② 延暦と弘仁 ③ 長元と延久  
④ 永保と応徳 ⑤ 貞觀と延喜

(6) 下線部(f)について。三筆の他の2名は誰か。もっとも適切な組み合わせを、次から選びなさい。

- ① 最澄と空海
- ② 藤原行成と小野道風
- ③ 藤原佐理と菅原道真
- ④ 橘逸勢と空海
- ⑤ 藤原佐理と小野道風

(7) 下線部(g)について。嵯峨天皇から空海への援助があらわれているものは何か。もっとも適切なものを、次から選びなさい。

- ① 神護寺
- ② 浄瑠璃寺
- ③ 延暦寺
- ④ 広隆寺
- ⑤ 東寺

**2** 次の史料A～Dは、いずれも『神皇正統記』の一部である。これを読んで、あとどの問い合わせに答えなさい。

A 第七十二代、第三十九世、白河院。……古ノアトヲコサレテ野ノ行幸ナンドモアリ。又白河ニ(ア)ヲ立、九重ノ塔婆ナドモ昔ノ御願ノ寺々ニモコエ、タメシナキホドゾツクリトヽノヘサセ給ケル。コノノチ代ゴトニウチツヽキ御願寺ヲ立ラレシヲ、造寺熾盛ノソシリ有キ。造作ノタメニ諸国ノ重任ナンド云コトオホクナリテ、受領ノ功課モタゞシカラズ、封戸・庄園アマタヨセオカレテ、マコトニ國ノ費トコソ成侍ニシカ。天下ヲ治給コト十四年。太子ニユヅリテ尊号アリ。世ノ政ヲハジメテ院中ニテシラセ給。後ニ出家セサセ給テモ猶ソノマヽニテ御一期ハスゴサセマシマシキ。オリヰニテ世ヲシラセ給コト昔ハナカリシナリ。……此御代ニハ院ニテ政ヲキカセ給ヘバ、しつべい執柄ハタゞ職ニソナハリタルバカリニナリヌ。サレドコレヨリ又フルキスガタハ一変スルニヤ侍ケン。執柄世ヲオコナハレシカド、宣旨・官符ニテコソ天下ノ事ハ施行セラレシニ、此御時ヨリ(イ)ヲオモクセラレシニヨリテ在位ノ君又位ニソナハリ給ヘルバカリナリ。世ノ末ニナレルスガタナルベキニヤ。

B 第八十二代、第四十四世、後鳥羽院。……平氏イマダ西海ニアリシホド、源(b)

( ウ )ト云物，マヅ京都ニ入，兵威ヲモテ世ノ中ノコトヲオサヘオコナヒケル。征夷將軍ニ任ズ。……アマリナルコトコトオホクテ，上皇御イキドホリノユエニヤ，近臣ノ中ニ軍ヲオコシ対治セントセシニ事ならず成シテ中々アサマシキ事ナンイデキニシ。東國ノ頼朝，弟( エ )等ヲサシノボセシカバ，( ウ )ハヤガテ滅ヌ。サテソレヨリ西国ヘムカヒテ，平氏ヲバタヒラゲシナリ。……カクテ平氏滅亡シテシカバ，天下モトノゴトク君ノ御マヽナルベキカトオボエシニ，頼朝勲功マコトニタメシナカリケレバ，ミヅカラモ權ヲホシキマヽニス。……諸国ニ( オ )ヲオキテ，( カ )ノ威ヲオサヘシカバ，吏務ト云コト名バカリニ成ヌ。アラユル庄園郷保ニ( キ )ヲ補セシカバ，( ク )ハナキガゴトクニナレリキ。頼朝ハ從五位下前右兵衛佐ナリシガ，( ウ )追討ノ賞ニ越階シテ正四位下ニ叙シ，平氏追討ノ賞ニ又越階，從二位ニ叙ス。建久ノ初二ハジメテ京上シテ，ヤガテ一度ニ權大納言ニ任ズ。又( ケ )ヲ兼ス。……程ナク辞退シテモトノ鎌倉ノ館ニナンクダリシ。其後( コ )ニ拝任ス。  
ソレヨリ天下ノコト東方ノマヽニ成ニキ。

(c) 平氏ノミダレニ南都ノ東大寺・興福寺ヤケニシヲ，東大寺ヲバ俊乗ト云上人(d)スヽメタテケレバ，公家ニモ委任セラレ，頼朝モフカク隨喜シテホドナク再興ス。供養ノ儀フルキアトヲタヅネテオコナハレケル，アリガタキコトニヤ。頼朝モカサネテ京上シケリ。カツハ結縁ノタメ，カツハ警固ノタメナリキ。

C 第九十代，第四十八世，後宇多院。……丙子ノ年，モロコシノ宋ノ幼帝德祐二年ニアタル。コトシ，北狄ノ種，蒙古オコリテ元国ト云シガ宋ノ国ヲ滅ス(( サ )国オコリニシヨリ宋ハ東南ノ杭州ニウツリテ百五十年ニナレリ。蒙古オコリテ，先( サ )国ヲアハセ，ノチニ江ヲワタリテ宋ヲセメシガ，コトシツヒニホロボサル)。辛巳ノ年<sup>(f)</sup>〈弘安四年ナリ〉蒙古ノ軍オホク船ヲソロヘテ我国ヲ侵ス。筑紫ニテ大ニ合戦アリ。神明，威ヲアラハシ形ヲ現ジテフセガレケリ。大風ニハカニオコリテ数十万艘ノ賊船ミナ漂倒破滅シヌ。末世トイヘドモ神明ノ威徳不可思議ナリ。<sup>(g)</sup>

D 第九十五代，第四十九世，( シ )天皇。諱ハ尊治，後宇多第二ノ御子。

……元弘辛未ノ年八月ニ俄ニ都ライデサセ給、奈良ノ方ニ臨幸アリシガ、其所ヨロシカラデ、笠置ト云山寺ノホトリニ行宮ヲシメ、御志アル兵ヲメシ集ラル。タビタビ合戦アリシガ、同九月ニ東国ノ軍オホクアツマリノボリテ、事カタクナリニケレバ、他所ニウツラシメ給シニ、オモヒノ外ノコトイデキテ、六波羅<sup>(h)</sup>トテ承久ヨリコナタシメタル所ニ御幸アル。御供ニハベリシ上達部・ウヘノヲノコドモモアルヒハトラレ、或ハシノビカクレタルモアリ。カクテ東宮<sup>(i)</sup>位ニツカセ給。ツギノ年ノ春(ス)國ニウツラシメマシマス。御子タチモアナタカナタニウツサレ給シニ、兵部卿(セ)親王ゾ山々ヲメグリ、國國ヲモヨホシテ義兵ヲオコサントクハタテ給ケル。河内國ニ橋正成ト云者アリキ。御志フカヽリケレバ、河内ト大和トノ境ニ、金剛山ト云所ニ城ヲカマヘテ、近国ヲオカシタヒラゲシカバ、アヅマヨリ諸國ノ軍ヲアツメテセメシカド、カタクマモリケレバ、タヤスクオトスニアタハズ。世ノ中ミダレ立ニシ。

問1 Aの下線部(a)「白河」以外の場所にも院の離宮が造営された。次のAの中からAの時代に院の離宮が造営されたところを1つ選びなさい。

- ① 岩倉 ② 船岡 ③ 北山 ④ 鳥羽 ⑤ 伏見

問2 Aの空欄(ア)に入る適切な語句を1つ選びなさい。

- ① 法成寺 ② 法勝寺 ③ 圓勝寺 ④ 最勝寺 ⑤ 法住寺

問3 Aの空欄(イ)に入る適切な語句を1つ選びなさい。

- ① 緯旨・御奉書 ② 緯旨・弁官御下文 ③ 院旨・御教書  
④ 直状・政所御下文 ⑤ 院宣・庁御下文

問4 Bの下線部(b)「西海」には平氏の信仰の拠点があった。それはどこか。次のAの中から1つ選びなさい。

- ① 富貴寺 ② 嶽島神社 ③ 三仏寺  
④ 出雲大社 ⑤ 宇佐八幡宮

問5 Bの空欄( ウ )に入る人名を1つ選びなさい。

- ① 義朝 ② 義仲 ③ 為朝 ④ 義経 ⑤ 行家

問6 Bの空欄( エ )に入る適切な語句を1つ選びなさい。

- ① 義仲・実朝 ② 範頼・行家 ③ 範頼・義経  
④ 賴政・行家 ⑤ 賴家・実朝

問7 次のうち、頼朝も( エ )も従軍していない合戦を1つ選びなさい。

- ① 石橋山の合戦 ② 屋島の合戦 ③ 一ノ谷の合戦  
④ 富士川の合戦 ⑤ 壇ノ浦の合戦 ⑥ 倶利伽羅峠の戦い

問8 Bの空欄( オ )・( キ )に入る語句を、次の中からそれぞれ1つずつ選びなさい。

- ① 国司 ② 問注所 ③ 政所 ④ 預所  
⑤ 地頭 ⑥ 守護 ⑦ 下司

問9 Bの空欄( カ )と( ク )に入る語句の組み合わせとして正しいのはどれか。次の中から1つ選びなさい。

- ① カ：国司 ク：問注所 ② カ：守護 ク：侍所  
③ カ：下司 ク：政所 ④ カ：国司 ク：本所  
⑤ カ：地頭 ク：公文所

問10 Bの空欄( ケ )と( コ )に入る語句の組み合わせとして正しいのはどれか。次の中から1つ選びなさい

- ① ケ：左大将 コ：征夷大將軍  
② ケ：征夷大將軍 コ：前ノ右大将  
③ ケ：前ノ右大将 コ：後ノ左大将  
④ ケ：征夷大將軍 コ：右近ノ大将  
⑤ ケ：右近ノ大将 コ：征夷大將軍

**問11** 下の文章ア～オは、いずれもBの下線部(c)からCまでの間に起きた出来事である。古い出来事から新しい出来事へ正しく並んでいるのはどれか。次の中から1つ選びなさい。

- ① オ→エ→ウ→ア→イ      ② エ→オ→ア→イ→ウ
- ③ オ→エ→ア→ウ→イ      ④ エ→オ→イ→ア→ウ
- ⑤ オ→エ→イ→ア→ウ

ア 執権を補佐する連署がおかれ、有力御家人や政務にすぐれた11人が評定衆に選ばれ政務の処理や裁判にあたった。

イ 上皇は北条氏追討の命令を発したが、東国武士の大多数は北条氏のもとに結集して京都を攻め、戦いは幕府の圧倒的な勝利に終わった。

ウ 式目51ヵ条が制定され、広く御家人たちに示された。

エ 北条義時は侍所の別当であった和田義盛を滅ぼして、政所と侍所の別当を兼ね、執権の地位を固めた。

オ 頼朝が死去すると、御家人中心の政治を求める動きが強まり、有力御家人13名の合議が行われるようになった。

**問12** 次のうち、Bの下線部(d)「南都」の仏教ともっとも関係が希薄な宗教者は誰か。次の中から1人選びなさい。

- ① 貞慶(解脱)      ② 明惠(高弁)      ③ 一遍(智真)
- ④ 収尊(思円)      ⑤ 忍性(良觀)

**問13** Bの下線部(e)「俊乗ト云上人」は、俊乗房すなわち重源のことである。次の中から、重源が再建した建物で現存する遺構を1つ選びなさい。

- ① 東大寺転害門      ② 東大寺正倉院宝庫      ③ 東大寺南大門
- ④ 東大寺大仏殿      ⑤ 東大寺法華堂(三月堂)

**問14** Cの空欄( サ )に入る王朝名を、次の中から1つ選びなさい。

- ① 大越      ② 金      ③ 大理      ④ 西夏      ⑤ 倭

問15 日蓮は、Cの(f)にある「蒙古ノ軍」に対する防衛策を説いたが、幕府に採用されず、「辛巳ノ年(弘安四年ナリ)」には、のちに日蓮宗の總本山となる寺に滞在していた。その寺はどこか。次の中から1つ選びなさい。

- ① 日円山妙法寺
- ② 長栄山本門寺
- ③ 具足山妙顯寺
- ④ 身延山久遠寺
- ⑤ 大光山本匱寺

問16 C以降に、従来の本地垂迹説と反対の立場から『類聚神祇本源』を著し、下線部(g)「神明」を主として仏を従とする神本仏迹説を説いたのは誰か。次の中から1人選びなさい。

- ① 一条兼良
- ② 度会家行
- ③ 二条良基
- ④ 吉田兼俱
- ⑤ 伊勢宗瑞

問17 Dの空欄(シ)に入る語句を次の中から1つ選びなさい。

- ① 後村上
- ② 後二条
- ③ 後伏見
- ④ 花園
- ⑤ 後醍醐

問18 Cの後宇多およびDの(シ)を出した皇統を何と称するか。次の中から1つ選びなさい。

- ① 持明院統
- ② 大覺寺統
- ③ 光明院統
- ④ 大徳寺統

**問19** Dの下線部(h)「六波羅」の位置の説明として適切なのはどれか。次の中から1つ選びなさい。

- ① 京都から大原へ向かう途中で、その先は北陸へ通じている。比叡山の西麓にあたり、現在は、京都市左京区内。
- ② 平安京の南、桂川と鴨川の合流点に近い平地。現在の京都市伏見区と南区にまたがる。
- ③ 京都の鴨川の東岸、五条と七条との間の地。現在の京都市東山区松原通付近。
- ④ 桂川(大堰川)の左岸。東は太秦、西は小倉山、北は上嵯峨の山麓に続く平坦な地。現在は、京都市右京区内。
- ⑤ 洛北の丘陵で、現在は、京都市北区紫野に含まれる。北および西側が葬送の地であった。

**問20** 1333年、Dの下線部(h)「六波羅」を攻め落としたのは誰か。次の中から1人選びなさい。

- ① 足利高氏
- ② 新田義貞
- ③ 楠木正成
- ④ 名和長年
- ⑤ 長崎高資

**問21** Dの下線部(i)「東宮」は、即位して何という天皇になったか。次の中から1人選びなさい。

- ① 花園天皇
- ② 光厳天皇
- ③ 光明天皇
- ④ 崇光天皇
- ⑤ 後光嚴天皇

**問22** Dの空欄(ス)に入る地名は何か。次の中から1つ選びなさい。

- ① 壱岐
- ② 隠岐
- ③ 佐渡
- ④ 土佐
- ⑤ 越後

**問23** Dの空欄(セ)に入る適切な語句を、次の中から1つ選びなさい。

- ① 以仁
- ② 宗尊
- ③ 惟康
- ④ 守邦
- ⑤ 護良

問24 『神皇正統記』の著者は誰か。次の中から1人選びなさい。

- ① 一条兼良
- ② 二条良基
- ③ 千種忠顕
- ④ 北畠親房
- ⑤ 吉田兼俱

3 次の文章は、日本の戦国時代について、ある歴史学研究者が論じたものである。文章をよく読んで、以下の問いに答えなさい。

常識的な時代区分によると、戦国時代とは、( a )年の(応仁の)乱の開始から、( b )年、織田信長が将軍( A )を追放するまでの百年余りの時期をさすことになっている。(中略)けれどもすこし具体的に考えてみると、いかに諸国の動乱がはげしいといっても、9代将軍( B )の代、すなわちその没年である( c )年頃までは、まだ中央政権としての室町幕府の存在を無視するわけにはゆかないし、幕府 - 守護体制そのものに正面から反逆的態度を示した者もほとんどいない。<sup>(あ)</sup>その意味で、戦国時代の開始時点を応仁の乱の勃発に求めることはややあいまいであり、いささか早きに失するといわなければならない。むしろ次のような一連の動きこそが、戦国時代開幕の実際の指標だと思われる。

1486年、出雲で前守護代( C )、守護京極氏<sup>(け)</sup>の拠点月山を奪う。

( d )年、加賀で一向一揆、守護( D )を倒す。

15世紀末、( E )、伊豆蘿山を奪い堀越公方<sup>(え)</sup>足利茶々丸を殺す。

( e )年、細川政元、將軍( F )<sup>(お)</sup>を追放する。

すなわち、数年間につづいておこった四つの事件は、既成の支配者同士の権力闘争にとどまるものではなく、どれもが、幕府 - 守護体制そのものに対する根本的な反逆という性質を帶びていた。このなかからさらにどれか一つの事件で線を引き、時代区分の画期を明瞭にせよといわれるとむつかしいが、あえていえば、前三者をふまえて、政元のクーデターをもって戦国時代の開始ということができるだろう。

(中略)

では、戦国時代の終末点はどこか。(中略)結論だけをさきにいえば、私は、通説の信長の將軍追放よりも、信長が岐阜から安土に城を築き始めた( f )年(同年、信長は安土に移っている)のほうが適當だと考える。安土進出は、濃尾の戦国大名・信長が、「天下人」への飛躍を具体化した最も明瞭な画期である。そして、さらにいえば、信長の安土時代を引き継いで秀吉が( g )年、小田原の( G )父子を打倒し、国内統一の軍事活動を完了するまでを実質的には戦国時代の最終局面として視野に入れる必要がある、と思う。

[出典 永原慶二『戦国時代－16世紀、日本はどう変わったのか』(上)より。一部改変]

問1 文章中の空欄( a )～( g )にあてはまる年代を、次の語群から選びなさい。

- |        |        |        |        |        |        |
|--------|--------|--------|--------|--------|--------|
| ① 1457 | ② 1460 | ③ 1467 | ④ 1483 | ⑤ 1484 | ⑥ 1485 |
| ⑦ 1487 | ⑧ 1488 | ⑨ 1489 | ⑩ 1490 | ⑪ 1491 | ⑫ 1493 |
| ⑬ 1494 | ⑭ 1495 | ⑮ 1570 | ⑯ 1573 | ⑰ 1576 | ⑱ 1590 |
| ⑲ 1592 | ⑳ 1596 |        |        |        |        |

問2 文章中の空欄( A )～( G )にあてはまる人名を、次の語群から選びなさい。

- |            |        |        |        |
|------------|--------|--------|--------|
| ① 赤松満祐     | ② 足利義持 | ③ 毛利元就 | ④ 大内義隆 |
| ⑤ 宇喜多直家    | ⑥ 足利義尚 | ⑦ 上杉謙信 | ⑧ 足利義満 |
| ⑨ 足利義政     | ⑩ 前田利家 | ⑪ 足利尊氏 | ⑫ 斎藤道三 |
| ⑬ 尼子経久     | ⑭ 足利義詮 | ⑮ 大友義鎮 | ⑯ 今川義元 |
| ⑰ 足利義輝     | ⑱ 足利義晴 | ⑲ 武田信玄 | ⑳ 足利義教 |
| ㉑ 足利義材(義稙) | ㉒ 北条時宗 | ㉓ 山名持豊 | ㉔ 細川勝元 |
| ㉕ 小早川隆景    | ㉖ 富樫政親 | ㉗ 足利義昭 | ㉘ 北条早雲 |
| ㉙ 北条氏政     | ㉚ 伊達政宗 |        |        |

問3 下線部(あ)～(く)について、以下の設間に答えなさい。

1. 下線部(あ)について、室町幕府の機構を説明した以下の文の下線部に誤りがあるものを1つ選びなさい。

幕府の機構として、將軍を補佐するのは管領であり、足利一門の有力  
① 守護の斯波・細川・畠山3氏が交代で任命された。これは侍所・政  
所・問注所を統括し、將軍の命令を諸国の守護に伝達した。また、京  
② 都の警備や裁判をつかさどり、その長官(所司)はおおむね山名・赤  
松・京極・一色の4氏の守護から任じられ、これらは奉公衆と呼ばれ  
③ ④ ⑤ た。

2. 下線部(い)について、戦国時代出雲を最終的に支配した大名家は何か。正しいものを選びなさい。

- ① 宇喜多家 ② 黒田家 ③ 長宗我部家 ④ 大内家  
⑤ 毛利家

3. 下線部(う)について、京極氏の説明として、次の文章が正しければTを、誤りがあればFにマークしなさい。

近江源氏佐々木氏より出た。京都京極高辻に屋敷を構え、それを家名とした。近江ほか5カ国の守護となった。一時衰退したが、織田・豊臣氏に仕えて再び栄え、関ヶ原の戦では東軍に属し、若狭国一国85000石余をあたえられた。

4. 下線部(え)の「一向一揆」を説明した次の各文のうち、誤りがあるものを1つ選びなさい。

- ① 一揆の主体は、「浄土真宗本願寺派」の門徒である。
- ② この集団は、5代宗主蓮如(中興の祖)の時代に一大教団を形成した。
- ③ 織田信長は、伊勢長島の一向一揆と戦った。
- ④ 徳川家康は、三河一向一揆と戦った。
- ⑤ 蓮如は1580年、朝廷をつうじて信長と和議を結び、石山本願寺を退去了。

5. 下線部(お)の「堀越公方」は、「古河公方」に対抗するために上杉氏が迎えたものである。その「古河公方」の変遷の説明として、誤りがあるものを1つ選びなさい。

- ① 1449年、足利持氏の末子成氏が鎌倉公方に迎え入れられた。
- ② 足利成氏は、関東管領上杉氏と対立した。
- ③ 1455年、成氏は鎌倉を逃れて、常陸国古河に拠った。
- ④ 成氏の後を、政氏、高基、晴氏が続いた。
- ⑤ 1554年、北条氏康に古河城を奪われて事実上滅亡した。

6. 下線部(か)の「細川政元」について、誤りがあるものを1つ選びなさい。

- ① 細川勝元の弟である。
- ② 母は、山名持豊の娘である。
- ③ 管領となった。
- ④ 摂津・丹波など四カ国の守護であった。
- ⑤ 暗殺によって生涯を閉じた。

7. 下線部(き)の「岐阜」または「岐阜城」について、誤りを含むものを1つ選びなさい。

- ① 岐阜城とは、もともとは稻葉山城ないしは井ノ口城とよばれた。
- ② 金華山にあった、中世から近世にかけての山城である。
- ③ 織田信長が移り住む1567年まで斎藤道三が居を構えていた。
- ④ この地名は、中国古代周王朝の中心地の地名にちなむ。
- ⑤ 織田信長は、小牧山城からここへ移転した。

8. 下線部(く)の「安土」および「安土城」について、誤りを含む記述を1つ選びなさい。

- ① 安土城には、御用絵師狩野永徳の襖絵があったとされている。
- ② 安土城は、記録によると「七層」の「天主(守)」をもつ城であった。
- ③ 安土城は、1579年に完成した。
- ④ 城下には安土山下町中捷書により、近世に先駆けた城下町が形成された。
- ⑤ 1582年の本能寺の変直後に城の主要部は焼失した。

4

次の文章を読んで、以下の問い合わせに答えなさい。

国内での内乱の終結後、外務卿の( A )は( ア )年、米国とのあいだで関税自主権の回復で合意する条約を締結したが、それは、ほかの国ぐにが同様の条約を締結するという条件が付いており、英独などの反対があったため、効力を失った。

その後、外務卿に就いた井上馨が( あ )における舞踏会などの欧化政策をとり、さらに日本人乗客20数人全員が死亡した( い )号事件において英國領事が船長に無罪を言い渡して、それらに対する反発が巻き起こっていた。そのような中、新たに発足した内閣制度において初代外務大臣に就いた井上は、列国との条約交渉をまとめようとしたが、その案が領事裁判権の撤廃において外国人を被告

とする裁判では外国人判事を半数以上採用したり内地雜居を認めるなどの内容であったことが暴露され、政府内でも農商務大臣( B )がそれへの反対から辞職して、国内で非常な反発をまねいたため、( イ )年に辞任を余儀なくされた。

井上の後任の外相に就任した( C )は、条約改正に好意的な国と交渉を始め、3か国とのあいだで改正条約に調印した。しかし、外国人の大審院判事への起用を認めていたことが判明し、国内で強い反対が起こった。そして、彼が( ウ )年、対外硬派の団体( う )所属の青年に爆弾を投げつけられ、片脚を失うという事件が起こったため、改正交渉は再度、失敗した。

ロシアが、英國の影響下にあったアフガニスタンに侵攻した。英國は( エ )年、そのことに対する抗するため、朝鮮の( え )を占領し、東アジアにおける英露対立は、激化した。さらに、ロシアがその6年後、( お )鉄道の建設を始めて、英國は、ロシアに対する警戒心を強める一方、日本には好意的になり、条約改正に応じる姿勢を示した。そこで、( D )外相が改正交渉を開始したが、( オ )年に起こった大津事件で辞任するにいたった。

それでも、( E )<sup>(c)</sup>外相は1894年( カ )月、英國とのあいだで通商航海条約を締結し、米国などほかの国ぐにとも同様の条約を締結した。これによって、日本は、領事裁判権の撤廃、最惠国待遇の相互平等、内地雜居を実現させた。關稅自主権の回復は、課題としてのこったが、これも( キ )年、( F )の外相在任時に実現した。

問1 上記の文章中の空欄( A )～( F )に当てはまるもっとも適切な人名を、次から1つずつ選びなさい。

- |        |        |        |         |
|--------|--------|--------|---------|
| ① 山田顕義 | ② 副島種臣 | ③ 森有礼  | ④ 大隈重信  |
| ⑤ 山県有朋 | ⑥ 寺島宗則 | ⑦ 西徳二郎 | ⑧ 伊藤博文  |
| ⑨ 林董   | ⑩ 松方正義 | ⑪ 陸奥宗光 | ⑫ 小村寿太郎 |
| ⑬ 沢宣嘉  | ⑭ 大山巖  | ⑮ 谷干城  | ⑯ 西園寺公望 |
| ⑰ 青木周蔵 | ⑱ 西郷従道 | ⑲ 榎本武揚 | ⑳ 加藤高明  |

問2 前掲の文章中の空欄( あ )～( お )に当てはまるもっとも適切な語句を、次から1つずつ選びなさい。

- |           |           |        |
|-----------|-----------|--------|
| ① リーフデ    | ② シベリア    | ③ 竹島   |
| ④ エルトゥールル | ⑤ 鬱陵島     | ⑥ 延遼館  |
| ⑦ 玄洋社     | ⑧ 立命館     | ⑨ アムール |
| ⑩ ノルマントン  | ⑪ 富国館     | ⑫ 興亜会  |
| ⑬ 黒龍会     | ⑭ 政教社     | ⑮ 東清   |
| ⑯ 巨文島     | ⑰ 鹿鳴館     | ⑱ 済州島  |
| ⑲ バイカル湖岸  | ⑳ インディギルカ |        |

問3 前掲の文章中の下線部(a)～(c)の項目にもっとも関係が深く、かつ内容が正しい事柄を、次から1つずつ選びなさい。

- ① 襲われた皇太子は、重傷を負ったものの、命はとりとめた。
- ② のちに暗殺されてしまった。
- ③ 英国皇太子が襲われた。
- ④ 長州藩の出身であった。
- ⑤ 襲ったのは、不平士族の人物であった。
- ⑥ 1886年に発足した。
- ⑦ 戦前期も、議会に責任を負うようになった。
- ⑧ のちに首相に一度、就任した。
- ⑨ 第2代内閣総理大臣は、黒田清隆であった。
- ⑩ のちに外相に再度、就任した。
- ⑪ 犯人は、死刑に処された。
- ⑫ 太政官制度としばらくのあいだ、並走した。

問4 前掲の文章中の空欄(ア)～(キ)に入る数字は、どれか。もっとも適切なものを、次から1つずつ選びなさい。なお、同じものを何回選んでもよい。

- |           |           |           |           |           |           |
|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|
| (1) 6     | (2) 7     | (3) 8     | (4) 9     | (5) 1876  | (6) 1877  |
| (7) 1878  | (8) 1879  | (9) 1880  | (10) 1881 | (11) 1882 | (12) 1883 |
| (13) 1884 | (14) 1885 | (15) 1886 | (16) 1887 | (17) 1888 | (18) 1889 |
| (19) 1890 | (20) 1891 | (21) 1892 | (22) 1893 | (23) 1894 | (24) 1895 |
| (25) 1909 | (26) 1910 | (27) 1911 | (28) 1912 |           |           |